

忠岡町
「第6次総合計画」の策定に関する
住民ワークショップ
報告書



令和2年1月

忠岡町

忠岡町住民ワークショップ結果概要

1. 実施概要

(1) 目的

今後の忠岡町のまちづくりについて住民の意見をとりまとめ、「第6次忠岡町総合計画」の策定に活用することを目的として「忠岡町の未来を考える住民ワークショップ」を実施しました。町の困りごとや好きなところについての意見を住民の皆様で考えるワークを中心に、テーマを変えて計3日実施しました。

(2) 開催日時

Day1：令和元年11月16日（土）10：00～12：00 テーマ「結婚、育児、出産、子育て」

Day2：令和元年11月30日（土）10：00～12：00 テーマ「ご近所付き合い・商業施設」

Day3：令和元年12月14日（土）10：00～12：00 テーマ「イベント、お祭り・福祉」

(3) 開催場所

忠岡町役場 3階研修室

(4) 参加者

町民（計33名）

(5) 当日の流れ

3日間行われた当ワークショップは1日から参加できるワークショップで構成され、回ごとに意見を出し合うテーマを変えて実施しました。設定したテーマに特に関心のある方が参加し、それぞれのテーマに関する意見を集めました。

ワークショップの冒頭では、参加者が意見を出しやすい場作りと参加者の肩書きによって意見の強弱が生まれないことを目的として、解釈に正解がなく、意見の違いを楽しむアートを鑑賞しながら対話をするプログラムをアイスブレイクとして実施しました。

3日間ともに町の困りごとと好きなところについて意見を出すことをゴールに設定しました。忠岡町の課題に関するアンケートやデータをクイズ形式で答えてもらったり、参加者同士で意見を共有する場を設けたりすることで、客観的な意見を踏まえながら町の困りごとや好きなところについて意見を募集しました。また、イベントの最後に町を良く

するアイデアを考えてもらうことで、町の理想の姿について具体的な意見として整理しました。

2. 実施内容

Day 1 テーマ「結婚、育児、出産、子育て」	
日時	令和元年11月16日(土) 10:00~12:00
参加人数	10名

(1) 挨拶



忠岡町役場自治政策課長と運営事務局より参加者へのワークショップの趣旨説明、3日間に渡るワークショップのゴールの説明を行いました。

Day 1では、結婚、育児、出産、子育てに関する困りごとや好きなところについて住民の意見を集めることをゴールに進行しました。

(2) アイスブレイク



アイスブレイクでは、自己紹介を行う代わりに、アートを鑑賞し感想を共有するプログラムを導入することで、肩書きや年齢の影響によって意見の強弱が生まれにくい場づくりを行いました。

(3) 忠岡町クイズ

住民意識調査等により明らかになっている忠岡町が抱える結婚、育児、出産、子育てに関する課題をクイズにし、グループごとに話し合いながら答えを考えてもらうことで、町の困りごとについて客観的な視点を加味しながら考える機会を設けました。

(4) 地域の困りごと洗い出し



参加者や参加者の知り合いが抱える結婚、育児、出産、子育てに関する困りごとについて自由に考えてもらい、付箋に書いてもらいました。個人で出した後にグループにどんな困りごとがあるのかを共有することで、年齢や性別が違う人がどんな困りごとを抱えているのかを知る機会となりました。

◆Day I で出てきた町の困りごと

子育て	結婚、出産、育児
子供の遊ぶところが減っている	新婚マンションがない
学童保育も給食にしてほしい	若い人が結婚したときの優遇がほしい
学童保育のお迎えが19時になってほしい	結婚したい人が見つからない
小中学校の学力が底辺に近いと聞いた	
子供が家の近くで充実して遊ぶことができない	
小中学校のいじめの現状が気になる	
子供の教育環境が不安	
公園が汚い	
公園の砂場が猫の糞だらけで遊べない	
遊具がボロボロ	
学校の学力を上げてほしい	
公園が少ない、遠い	
教育費がかかる	
公園に人気なくて、安心・安全ではない	

その他	
地域が閉鎖的	産後ケア施設が無い
外から来ると地元を受け入れてもらえない	図書館が閉まっている日が多い
学校でトイレに行けるようにしてほしい	津波が来たら駅下は不安
買い物する場所がない	買い物に行くとき、交通量が多い
駅付近に活気がない	歩道と自転車道で別れていないので危険。でこぼこも危険。
若いときに暮らしたい魅力が少ない	道が狭い
自分の時間が持てない	共働きで大変

(5) 地域の好きなおところ出し

町の好きなおところについて、結婚、育児、出産、子育てに関係なく、幅広く考えてもらい、付箋に書いてもらいました。個人で出した後にグループにどんな好きなおところがあるのかを共有することで、町のどんなところが好きなのかを知る機会になりました。

◆Day 1 で出てきた町の好きなおところ

結婚、出産、育児、子育て	
育児がしやすい	
幼保が充実	
地域での子育てができる	
子どもはゆったりしている	
コンパクトシティ、アクセス	
住みやすい	人が良い
ほどよく都会	声をかけやすい
住宅が安い	町のために活動している人が多い
街がコンパクト	話し相手がいる
町が小さいので、役場、郵便局が近い	みんな顔見知りなおところ
のんびりしている	地元の方と交流がないので気楽
静かで、夜も騒がしくない	子供の頃から暮らしているから、知人や知っている場所が多く、安心する。
駅が古風	高い建物が少なく、街が見渡せる
人が少ないから役場で並ばなくても良い	他の駅とのアクセスが良い
車がなくても生活できる	
他の駅とのアクセスが良い	
その他	
住民は贅沢をしている	
だんじり祭り	
公園が綺麗	
ジム・プールが利用しやすい	

(6) 町を良くするアイデアを考える



参加者にアイデアの定義とアイデアを考えるコツについて説明後、町の困りごとを解決するアイデアと町を良くするアイデアについて考えてもらいました。

個人で考えたアイデアをグループに共有することで、理想の忠岡町の在り方について、具体的なイメージを共有し合うことができました。

◆Day 1 で出てきた町を良くするアイデア

子育て
空き地を遊ぶ場所にする
子育て支援、得意な分野で関わってもらう
学童と福祉施設を一体化する
室内で子供が毎日遊べる場所をつくり、地元の大人も利用して、一緒に過ごせる空間をつくる
スーパー、役場など人が集まる場所に子どもたちの遊び場をつくる

施設、設備の拡充
コミュニティバスの増発
駅前にマンション
駅にストア
学校などで施設を開放する
みんなが集まれる場所があるとよい
駅前に図書館のサテライト（コーヒーも飲める、21時まで開いている）
公園をジムにする
福祉施設や児童館、図書館で働く人の休みをずらして毎日利用できるようにする
プールの定休日を無料開放日にする
駅舎に、地元の人がビジネスをしているショールームをつくる

その他
子供の声を聞く
大人の学校をつくる
インスタ映え
移動販売
川の堤防を草のすべり台にする
自動運転車を走らせ、町民がいつでも利用できるようにする。
駅舎を地方有名人フラワーアーティストにデザインしてもらい、インスタ映え
外から忠岡へ移住してもらう
若い人を呼ぶ
街を線路で区切らない（アンダーパス）

(7) 自己紹介

最後に自己紹介をし合うことで、参加者同士のつながりを強めるだけでなく、参加動機や普段の活動についても共有することで、どんな人がどんな想いを抱えて参加したのかを知る機会となりました。

(8) 振り返り

ワークショップの内容を振り返りながら、本日のゴールと目的を達成できたことを確認しました。また、Day 2 の内容と日程についてご案内しました。

Day 2 テーマ「ご近所付き合い・商業施設」	
日時	令和元年 11 月 30 日（土）10:00～12:00
参加人数	14 名

(1) 挨拶

忠岡町役場自治政策課長と運営事務局より参加者へのワークショップの趣旨説明、3 日間に渡るワークショップのゴールの説明を行いました。

Day 2 では、ご近所付き合い・必要な商業施設に関する困りごとや好きなおところについて住民の意見を集めることをゴールに進行しました。

(2) アイスブレイク



アイスブレイクでは、自己紹介を行う代わりに、観方に答えがないアートを鑑賞し感想を共有するプログラムを導入することで、肩書きや年齢の影響によって意見の強弱が生まれにくい場づくりを行いました。

(3) 忠岡町クイズ

住民意識調査等より明らかになっている忠岡町が抱えるご近所付き合い・必要な商業施設に関する課題をクイズにし、グループごとに話し合いながら答えを考えてもらうことで、町の困りごとについて客観的な視点を加味しながら考える機会を設けました。

(4) 地域の困りごと洗い出し



参加者や参加者の知り合いが抱えるご近所付き合い・必要な商業施設に関する困りごとについて自由に考えてもらい、付箋に書いてもらいました。個人で出した後にグループにどんな困りごとがあるのかを共有することで、年齢や性別が違う人がどんな困りごとを抱えているのかを知る機会になりました。

◆Day2で出てきた町の困りごと

ご近所付き合い	施設
近所の人とのコミュニケーションが少ない	居酒屋が少ない
外出している人が少ない	買い物に行きたいと思わない。
老若男女問わず気軽に集まれる場がない	近所にスーパーがない
昔から住む住民と新しい住民との心理的な距離がある	町外からも売上を上げられるお店があまりない
町内会に若い人が少ない	公園を整備してほしい
町内会の役員に若い人がならない	学童保育を強化してほしい
町内会の参加率が少ない	子ども食堂のあり方に疑問がある
	スポーツ施設を整備してほしい
	空き地が増えた
	トイレの使える公園がほしい
	高齢者でも徒歩で行けるミニスーパー
その他	
外出の交通手段がない	
福祉バスの運行数が少ない	
自治会、婦人会に定年が無いこと	
歩道が狭い	
路上喫煙	
学力が低い	
子どもが少ない	
災害時の対応が遅かった（優先順位に違和感を持った。）	
車の免許を持っていない人は困る	
民間のバスが無い	

(5) 地域の好きなのところ出し

町の好きなのところについて、ご近所付き合い・必要な商業施設に関係なく、幅広く考えてもらい、付箋に書いてもらいました。個人で出した後にグループにどんな好きなのところがあるのかを共有することで、どんな人が町のどんなところが好きなののかを知る機会になりました。

Day2からは、町の好きなのところに関する意見を多く出す工夫として、町の好きなの季節、場所、店、人について出すウォーミングアップをした後に、町の好きなのところについて自由に意見を出してもらいました。

◆Day 2で出てきた町の好きどころ

好きなところを自由に出す
人との繋がりがあるところ
こじんまりしていて落ち着くところ
ただお課長
近所同士の交流（色々してくれる）
牛乳屋のおかし（子どもが自分で買い物ができる）
距離が近いところ
町が小さいところ
田舎っぽいところ（住むには便利）
だんじりや町民運動会など年代を越えて住民が集まるところ
行政に声が届きやすい
シビックの上から見る町並み
秋祭り
畑が多い
日本で一番小さく、皆が仲間意識を持っているところ
小さな町なので、一人でもつながるとネットワークが広がる
車がなくても生活できるので、引っ越しのタイミングで車を処分できた

人	店	場所
卓球練習の仲間	南一丁目にあるお好み焼き、鉄板焼	シビックセンター（許可が早い役場。資料スポーツ等が集まっているところ）
町長（誰にもなびかない）	五位山（美味しい、顔見知りが多い）	町民運動場
忠岡小校長	大阪館（昔ながらの散髪屋）	東忠岡幼稚園
役回りを持っている人たちが優しい	オークワ	図書館
息子	駅前の喫茶店	さつき通り
前田健太	整骨院ひろし	
いつもサポートしてくれる町民の方々		

季節
秋（祭り、町民運動会等のイベントがあり、地域住民が集える）
秋（町のイベントが多く、町内で遊べる）
夏
9～10月
春

(6) 町を良くするアイデアを考える

参加者にアイデアの定義とアイデアを考えるコツについて説明後、町の困りごとを解決するアイデアと町を良くするアイデアについて考えてもらいました。

個人で考えたアイデアをグループに共有することで、理想の忠岡町の在り方について、具体的なイメージを共有し合うことができました。

◆Day2で出てきた町を良くするアイデア

ご近所付き合い	施設
世代に関係なく繋がりやすいイベント	移動販売のスーパー、食べ物屋
各自治会の繋がりが増えるイベント	法人税の工夫
老人と子どもの交流する機会をつくる	美術館コラボなどによる文化の醸成
運動会を若い人たちが参加できるイベントにする	産業をつくる
シビックの周りに人の集まれる場所として食堂をつくる	ゆっくりできるお店
	経済的な循環機能
	年齢、住民内外を問わず集える場所
	ファミレス等の家族で行ける場所
	低価格設定の運動施設
	空き地カフェ
	墓地をカフェや休憩所にする

その他
簡単に移動できるシステム
送迎サービス
福祉バスを一般人も利用できるようにする
デイケアの車に有料でも良いので、健常者も乗れるようにする

(7) 自己紹介

最後に自己紹介をし合うことで、参加者同士の繋がりを強めるだけでなく、参加動機や普段の活動についても共有することで、どんな人がどんな想いを抱えて参加したのかを知る機会となりました。

(8) 振り返り



ワークショップの内容を振り返りながら、本日のゴールと目的を達成できたことを確認しました。また、Day3の内容と日程についてご案内しました。

Day3 テーマ「イベント、お祭り・福祉」	
日時	令和元年12月14日(土) 10:00~12:00
参加人数	9名

(1) 挨拶

忠岡町役場自治政策課長と運営事務局より参加者へのワークショップの趣旨説明、3日間に渡るワークショップのゴールの説明を行いました。

Day3では、イベント、お祭り・福祉に関する困りごとや好きなところについて住民の意見を集めることをゴールに進行しました。

(2) アイスブレイク



アイスブレイクでは、自己紹介を行う代わりに、観方に答えがないアートを鑑賞し感想を共有するプログラムを導入することで、肩書きや年齢の影響によって意見の強弱が生まれにくい場づくりを行いました。

(3) 忠岡町クイズ

住民意識調査等より明らかになっている忠岡町が抱えるイベント、お祭り・福祉に関する課題をクイズにし、グループごとに話し合いながら答えを考えてもらうことで、町の困りごとについて客観的な視点を加味しながら考える機会を設けました。

(4) 地域の困りごと洗い出し



参加者や参加者の知り合いが抱えるイベント、お祭り・福祉に関する困りごとについて自由に考えてもらい、付箋に書いてもらいました。個人で出した後にグループにどんな困りごとがあるのかを共有することで、年齢や性別が違う人がどんな困りごとを抱えているのかを知る機会になりました。

◆Day3で出てきた町の困りごと

イベント、祭り	福祉
若い人が少なく、何事にも参加者が少ない。コミュニケーションが無い。	高齢者の一人暮らし、引きこもり
若者が集まるイベントを企画してほしい	子どもから高齢者までいつでも集まれる、立ち寄れるサロンがない
開催会場までのアクセスがない（地域会館も含め）	老老介護になりつつある
役員が大変、担い手不足	手話サークルで学べることのレベルが低い
イベントを増やしてほしい	福祉センターなのに児童福祉の場として使用させてもらえない。（老人センターの機能しかない）
イベントが秋に集中している	
祭りに参加する人数が減少している	
だんじりのタバコ、酒が嫌。マナーが悪い。	
カーニバルが変化なく、毎年ありきたり	

その他	
協調性がない	人が少ないので、同じ人に色々な役がまわってくる
近隣間の交流が少なくなっている	スクールゾーンが少ない
趣味などクラブはあるが、既にグループができているため、入りづらい	ふれあいホールの利用をもっと幅広いものにしてほしい
各団体への参加者が減ってきている	コパンが構想とのギャップがある
飲食店が少ない	体育館利用ができる団体を幅広くしてほしい
若い人が集まる施設がない	スポ少などの特定の団体を優遇しているので、音楽やスポーツなど他の団体にも目を向けてほしい
	スポーツセンターなどの利用のしやすさ充実

(5) 地域の好きなおところ出し



町の好きなおところについて、イベント、お祭り・福祉に関係なく、幅広く考えてもらい、付箋に書いてもらいました。個人で出した後にグループにどんな好きなおところがあるのかを共有することで、どんな人が町のどんなところが好きなのかを知る機会になりました。

Day3は、Day2と同じく町の好きなおところに関する意見を多く出す工夫として、町の好きな季節、場所、店、人について出すウォーミングアップをした後に、町の好きなおところについて自由に意見を出してもらいました。

◆Day3で出てきた町の好きなおところ

好きなおところを自由に出す
小さな町なので、顔見知りになると声を掛け合い行事に参加しやすくなる
ゆるキャラ
イベントが多い
役場が近く、手続き等がしやすい
声を掛けたら集まってくれるところ
人間味がある
日本で一番小さい町（こじんまりしている）
空が綺麗
夜空が綺麗

人	店	場所
国立がんセンター西田先生	レストラン櫻	新浜緑地
町長	ライブの前にある飲み屋	文化会館
道や公園のゴミを拾っている人	茜	河川敷公園
	ぎょうざやっこ	役場
	大阪館（散髪屋）	町民グラウンド
	五位山	東忠岡幼稚園
		整骨院ひろし

季節
秋（祭りシーズンなので）
さくら咲く時
夏から秋
夏
春～初夏

(6) 町を良くするアイデアを考える



参加者にアイデアの定義とアイデアを考えるコツについて説明後、町の困りごとを解決するアイデアと町を良くするアイデアについて考えてもらいました。

個人で考えたアイデアをグループに共有することで、理想の忠岡町の在り方について、具体的なイメージを共有し合うことができました。

◆Day3で出てきた町を良くするアイデア

イベント、祭り
若者ダンスイベント大会
助成金の増加
福祉バスを利用し、季節ごとに観光ツアーをする
地域会館に大型スクリーンを置き、イベント声を掛け合い行事に参加しやすくする
だんじりの歴史がわかる記念館（正木美術館で年一回やるなど）
子ども会に入会したくなるような催し（スポーツの強要はせず）

福祉
介護タクシー、バスの充実
朝市、菜園野菜を巡回して販売
ライフの移動スーパー

その他
出店しやすい制度
室内で集まれる、休憩ができる施設
レンタルスペース
日替わり食堂
子ども文化会館
女性センター
チェーン店誘致
若い人に特化したコミュニティセンター

(7) 自己紹介

最後に自己紹介をし合うことで、参加者同士のつながりを強めるだけでなく、参加動機や普段の活動についても共有することで、どんな人がどんな想いを抱えて参加したのかを知る機会となりました。

(8) 振り返り

ワークショップの内容を振り返りながら、本日のゴールと目的を達成できたことを確認しました。

忠岡町

「第6次総合計画」の策定に関する住民ワークショップ 報告書

編集・発行 忠岡町 町長公室 自治政策課

〒595-0805 大阪府泉北郡忠岡町忠岡東1丁目34番1号

TEL：0725-22-1122（代表） FAX：0725-22-0364
